

やまぐちっ子学力向上だより

第165号 R8.5.18

山口県教育庁義務教育課

組織的な取組を授業改善につなげましょう

全国学力・学習状況調査が実施されました。実施に際しては、子どもたちが自信をもって臨むことができるよう、該当学年の担任だけでなく、他学年や他教科、管理職の先生方とも確認しながら、全校体制で学び直し等に取り組まれていることと思います。

このような組織的な取組は、調査実施後の分析や、その結果を踏まえた授業改善・学習改善を進める上でも重要になります。引き続き、学校全体での取組をよろしくお願ひします。



各教科の問題から見える授業づくりのヒント

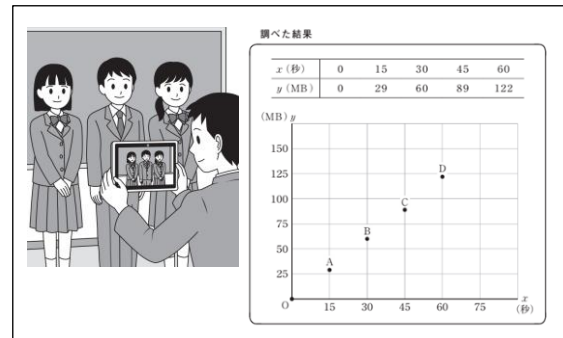
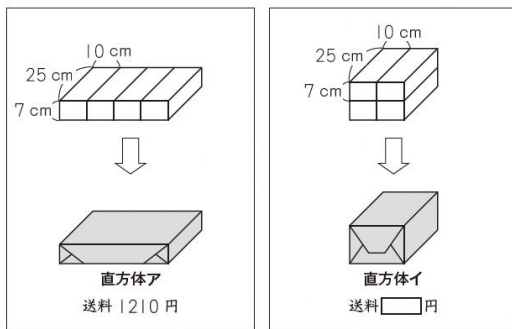
全国学力・学習状況調査の問題は、学習指導上特に重視される点や、身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとして作成されています。つまり、調査問題を単なるテスト問題としてではなく、授業改善につながる教材として捉えることが重要です。

今年度の調査で出題された問題について、次の2つの視点から考えてみましょう。

視点1 日常の中から、子どもや教員が問いを見付ける

▼小学校算数¹ (立方体・直方体)

中学校▼数学⁷ (動画の時間とデータ量)



算数・数学では、お菓子の箱のまとめ方と送料、動画の時間とデータ量の関係など、日常生活の事象を数学的に捉え、思考し、解決に向かう問題が多く出題されています。国語や英語でも、日常の学習活動や話合いの場面をもとにした出題が見られました。

これらは、公式や解法を理解するだけでなく、「どう考えれば日常の問題をよりよく解決できるか」「今日学んだことは生活のどのような場面につながっているか」を考える力を問うものです。身の回りの物事を各教科の視点で捉えてみたり、授業の中で「これと似たことは生活の中にないかな」と子どもたちに問いかけたりすることで、各教科の学習と日常生活をつなぐことが大切です。

視点2 自分なりに考えたことを表現する

▼小学校国語 3三(2)

▼中学校英語 12 (書くこと)

(略)…あなたなら、【文章】を読んで考えたことをどのようにまとめますか。…(略)

<条件>

- 【文章】を読んで、考えたことを書くこと。
- 【文章】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- あなたの経験を書くこと。



(略)…思い出を1つ取り上げ、「そこであなたが体験したこと」と「感想」を、15語以上30語以内の英語で書きなさい。



国語では、文章を読んで自分の経験と結び付けて自分なりの考えを書く問題や、話合いの場面で、自分ならどのような意見を述べるかを考える問題が出題されました。英語(書くこと)では、まとまりのある文章を書く問題が出題され、自分の考えや気持ちを相手に伝える力が求められています。

これらの問題では、「自分はどう考えるのか」が問われており、自分なりに考えたことを表現する力が重視されています。

このように、日常の中から自分なりの問いやめあてを見付け、他者と協働しながら学び、自分なりの考えを表現する姿は、探究的に学ぶ姿の一つであると考えられます。

授業の中で、単元の見通しを共有した上で、子どもたちが日常の中で見付けた問いを追究し始めるためには、どのような工夫が必要でしょうか。また、単元の学習を終える頃に、自分なりの考えを伝え合うことができるようにするためには、どのような支援が考えられるでしょうか。

まずは、先生自身が単元の学習内容と日常生活とのつながりを探して子どもたちに紹介して見ること、そして「あなたはどう思いますか」、「あなたはどう考えますか」と問いかけることから、子どもたちの思考を深めていきましょう。

先生方は、どの問題が気になりましたか

「簡単そうに見える問題もありましたが、考え方そのものが問われていて、難しいと感じた子どもも多いかもしれません。」

「授業での子どもたちの発言の取り上げ方、考えの広げ方を見直す必要を感じました。」
学校訪問の中で、研修主任の先生方からこのような言葉が聞かれました。

先生方は、今回の調査問題を見て、どのようなことを感じられたでしょうか。「この問題は面白い」「授業で使えそう」「子どもたちと一緒に考えてみたい」などと感じられた方もいらっしゃるでしょう。今後の参考にしたいので、ぜひ次のフォームからお聞かせください。

「気になった問題」募集フォーム

<https://forms.gle/gcF44Ujw8tc9XDxt5>

※回答は任意です。1分程度で回答できます。

